

令和2年 7月 「月報」

1 はじめに

政府は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために都道府県をまたぐ移動の制限を国民に要請していましたが、6月19日（木）から解除しました。これにより自粛生活をしてきた多くの国民が各地へ出かけ、徐々に元の生活に戻りつつあります。

しかしながら、世界では新型コロナウイルスの感染拡大は収束することなく累計感染者数が約850万人、死者数が約46万人に達しています。このような状況に鑑み、「with コロナ」なる造語がマスコミで使われ、国民の生活の全てにおいてコロナの感染防止を意識した行動が要求されるといっても過言ではなくなりました。

新型コロナウイルスの感染は夏ごろには落ち着くであろうとの読みで、本会は春の入隊・入校激励会等の行事を縮小又は中止し、本部の総会も10月に延期しました。

しかしながら本会も、活動中止ではなく「with コロナ」を意識した活動に少しずつ変えていかなければならないと考えます。

そのような中、兵庫県伊丹家族会が、フェイスブックやLINE等のSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した会員への情報発信の強化に努めております。3項（4）でその詳細を紹介致します。

2 防衛省・自衛隊の活動

（1）第39次派遣海賊対象航空隊の要員交代

6月18日（木）、第39次派遣海賊対処行動航空隊（航空隊司令2等海佐天沼知之）の交代要員（八戸基地所属の第2航空群）が、成田空港からチャーター機で出国しました。

新型コロナウイルスの影響により、ジブチ政府が入国禁止措置をとっていたことで、使用する航空機（P-3C哨戒機）のみを4月に交代して活動を継続してきましたが、要員交代についてもジブチ政府との調整がつき、この度の交代となりました。

防衛省・自衛隊は、海外への派遣隊員と部外者との接触（面会等）を禁止しており、本会からの慰問・激励はできませんでした。

（2）新型コロナウイルス市中感染拡大防止のための災害派遣

4月上旬以降、30都道府県知事からの要請に基づき、新型コロナウイルス市中感染拡大防止のための災害派遣を引き続き実施中です。その主要内容は、自治体職員や医療関係者に対する感染防止のための教育（防護服の着脱要領等）支援です。

3 家族会の活動

（1）第1回理事会（書面決議）結果

新型コロナウイルスの状況は未だ予断を許しませんので、本年度第1回の5月理事会を書面決議といたしました。議案及び報告事項は以下のとおりです。

議案全てが承認され可決致しました。

ア 議案

- *第1号議案：令和元年度事業報告（案）
- *第2号議案：令和元年度収支計算書（案）及び監査報告書
- *第3号議案：辞任副会長の後任選任（案）
- *第4号議案：辞任業務執行理事（総括）の後任選任（案）
- *第5号議案：県会長人事（案）
- *第6号議案：運営委員人事（案）
- *第7号議案：令和2年度定期総会の開催の変更について（案）
「6月16日(火)予定の総会を10月5日(月)に延期」

イ 報告

- *報告1：令和元年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告
- *報告2：東京オリンピック・パラリンピック募金の取り扱いについて

(2) 多国籍部隊監視団 (MFO) 司令部派遣要員に対する激励

シナイ半島においてエジプト・イスラエル間の停戦監視等の活動を行う多国籍部隊監視団司令部に派遣される深山2等陸佐及び竹田津3等陸佐の両名に対して、6月12日（金）、本会からの激励・慰問品を土谷事務局長から贈呈し、約1年間の現地での活動を激励しました。

(3) 第14次派遣海賊対処行動支援隊に対する慰問・激励

6月15日（月）、小泉栃木県会長は、第14次派遣海賊対処行動支援隊（支援隊司令1等陸佐真鍋輝彦以下中央即応連隊基幹等）に対する本会からの慰問・激励を担当しました。

18日（木）、行動支援隊はチャーター機で成田空港を出国しました。

(4) コロナに負けない SNS を活用した家族会活動の活性化

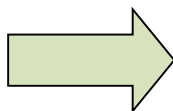
兵庫県伊丹自衛隊家族会（会長 真鍋憲一）は、新型コロナウイルスの蔓延で入隊・入校予定者激励会等の行事が中止となり、会員一同が会する活動も自粛しておりました。自衛隊への激励ができない歯がゆい思いを胸に、3月の理事会において、高木事務局長が、昨年来伊丹自衛隊家族会が取り組んできた「フェイスブックやLINE等SNSを活用した会員相互の情報発信を強化すること。」を提案しました。

その内容は、自衛隊各関係機関からの情報共有を中心とし、伊丹自衛隊家族会の活動内容もタイムリーに公開するものです。その結果、新入隊員ご家族の入会を促進するとともに、フェイスブックでは250名以上の閲覧者を獲得することになりました。更には、SNSを通じて全国の本会会員や、防衛関係諸団体とのつながりも徐々に連携強化できています。

真鍋会長は、コロナに負けない大きな成果であると自負し、引き続き SNS 強化活動を継続し会の活性化につなげて参ります。



A 会員が SNS で情報発信



B 会員が SNS を通じ情報共有

(5) 自衛隊の訓練を激励（熊本県家族会八代支部）

6月5日（金）、後川^{のちかわ}一也^{かずや}熊本県家族会八代支部長は、西部方面特科連隊第1大隊（大隊長 塚本圭祐^{けいすけ} 2等陸佐）が八代市で毎年実施する災害派遣を見据えた内容の「機動訓練」を、熊本地本八代出張所長の支援を得て現地にて激励しました。

後川^{のちかわ}支部長は、「暑い中、ご苦労様です。引き続き隊員をサポートするとともに、自衛隊の任務達成に協力して参ります。」との言葉とともに激励品を塚本大隊長へ贈呈しました。



漕船訓練中の隊員



塚本大隊長へ激励品を贈呈する後川支部長